

【広報新宿 2/15 号掲載】

中町町会 防災訓練を兼ねた餅つき大会

事業実績

開催日	令和5年12月23日(土)	実施団体	中町町会
会場	中町公園	参加者	120名

事業の内容

・中町町会では、地震等の災害発災時にインフラが寸断されても、炊き出しがスムーズにできるように、備蓄機材の状態や炊き出しの段取りを確認しながら、年末に餅つき大会を実施している。

当日の様子

・今回は4年振りの開催となり、準備が大変だったが、当日は会員同士の交流の場として盛り上がった。
 ・中町町会は、長野県佐久市望月地区と26年間交流が続いており、今回使用したもち米は同地区で収穫したものを使用した。

工夫した点

・多くの人に参加してもらうよう、掲示板での告知だけでなく、70歳以上の方には個別に案内するなど、イベントの周知に力を入れた。
 ・消防団の協力のもと、薪を使うかまどを使用し、建築用の廃材を燃料とすることで備蓄機材の使用方法を学ぶ機会となった。

改善点
気づいた点等

・かまどの使用にあたっては、消防団に協力してもらうことで、正しく安全に使用する方法を学ぶことができた。

イベントの様子・参加者の声

地域の絆をつなぐ町会・自治会

町会・自治会は、ご近所つながりで構成される任意の団体です。区内には200の町会・自治会があり、イベントのほか防災・防犯活動、地域行事など、より深い地域づくりのための活動を行っています。

今回は、望月地区にある中町町会を紹介しました。中町町会では、災害時に備えて、12月に防災訓練を兼ねた餅つき大会を実施しました。

★今回の防災訓練・餅つき大会の経緯の一部は、区の補助金(地域コミュニティ事業補助金)を活用しました。

中町町会その他の取り組み

★他県の自治会との交流
 中町町会は、長野県佐久市望月地区と毎年10月に町会の出張研修などの交流会を実施しています。この交流は26年間続いており、今回使用したもち米は同地区で収穫されたものです。

町会員より
 多くの方に参加してもらえよう、筆筥町だけでなく、70歳以上の方には個別に案内するなど、イベントの周知に力を入れました。4年ぶりの開催で準備が大変でしたが、当日は会員同士の交流の場として盛り上がりました。

◆備蓄機材の点検・使い方の説明
 もち米を炊くすまわし、消防団の協力のもと防災訓練に備蓄しているかまどを使い、災害時に困らないよう、火を起こす体験や備蓄機材の確認をしました。

中町町会
 会長 神山真実

広報新宿
 2月15日号



杵の使い方を教わりながら、多くの子もたちが餅つきを楽しみました。